



市議会だより

きたあきた



No. 50

平成28年11月1日発行

9月定例会

- 本定例会の審議 2
- 議案等表決状況／賛成・反対討論 3
- 常任委員会の審査報告 4～5
- 一般質問／所管事務調査報告 6～10
- 臨時会／議会全員協議会 11
- 決算特別委員会審査報告 12
- 議会報告会／請願・陳情 13
- 市民の声／人事案件／あとがき 14



大ヒットアニメ映画「君の名は。」
登場した駅のモデルに！？

～ 多くのファンが訪れている前田南駅 ～

平成28年度一般会計補正予算

4億3648万9千円を原案可決

平成28年北秋田市議会9月定例会は、9月9日（金）から10月7日（金）までの29日間の会期で行われました。今定例会では、承認案1件、条例案2件、予算案5件、各決算認定23件、人事案件1件など、提案された議案38件及び請願1件、継続審査とされていた陳情1件が、それぞれ承認、可決、認定、採択されました。

また、決議案として、JR鷹ノ巣駅の待合室開放と、駅員の常駐を要望することに関する決議案が提案され、全会一致で可決されました。



すべての議案が原案のとおり承認、可決、認定、採択された9月定例会

今定例会の主な議事

- 一般会計補正予算
- 特別会計補正予算
- 平成27年度各決算の認定
- 北秋田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定
- 合川学童研修センター条例及び教員住宅条例の一部を改正する条例の制定
- 人権擁護委員候補者の推薦
- 小又峡遊歩道整備を求める意見書提出の請願
- JR鷹ノ巣駅の待合室開放と、駅員の常駐を要望することに関する決議 など

主な補正予算

平成28年度一般会計補正予算案は、歳入歳出それぞれ4億3648万9千円を追加し、予算総額を252億4014万8千円とするものです。

歳入の主なものについて、▽旧秋北バス営業所解体費2562万6千円、▽番号制度システム改修費9222万1千円、▽農地耕作条件改善事業補助金312万円、▽松くい虫伐倒処理委託231万5千円、▽大館能代空

港運賃助成事業補助金（冬期間対策）600万円、▽鷹巣小通学路工事請負費1200万円などが計上され原案のとおり可決されました。

平成27年度 各決算の認定

各委員会での審査内容は、12ページに記載されています。本会議での討論と採決は、次ページのとおりです。

議員提出の決議

「JR鷹ノ巣駅の待合室開放と、駅員の常駐を要望することに関する決議案」が提出され、JR鷹ノ巣駅の待合室は、列車時間内でも閉鎖され、駅員がいない状況にあり、高校生をはじめとする通勤、通学などの利用者が不便を強いられていることから、改善をJR東日本秋田支社に要望することを全会一致で決議しました。

請願は1件

森吉山秋田県立自然公園内「小又峡」遊歩道整備を求める意見書提出の請願は全会一致で採択され、県に意見書を提出することとなりました。

継続審査陳情

「子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を国に求める」意見書提出の陳情書については全会一致で採択され、国に意見書を提出することとなりました。

人権擁護委員の推薦に同意

人権擁護委員候補者の推薦については、14ページのとおりでです。



午後6時10分以降は待合室が閉鎖されているJR「鷹ノ巣駅」

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

議 案 名	採決結果	緑風・公明				みらい					共産党 議員団		清和会		新創会			無会派			
		関口 正則	堀部 壽	武田 浩人	小笠原 寿	佐藤 光子	大森 光信	黒澤 芳彦	中嶋 洋子	庄司憲三郎	松橋 隆	板垣 淳	久留嶋 範子	三浦 倫美	吉田仁吉郎	山田 博康	長崎 克彦	佐藤 重光	佐藤 文信	松尾 秀一	福岡 由巳
【平成２８年９月定例会／平成２８年１０月７日採決】																					
平成27年度一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	-	○	▼	▼	●
平成27年度病院事業会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	-	○	▼	▼	●

※全会一致の可決、採択については除いています。また、無記名投票の場合は賛成・反対の票数を記載します。
 ※議長は、過半数で議決すべき場合には、法第116条第2項で「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、議長は採決には加わりません。なお、当日は長崎副議長が議長の職務を代行しております。

賛成・反対討論

※発言順に掲載しています

反対討論



福岡由巳 議員

▼認定第1号
 平成27年度北秋田市
 一般会計歳入歳出決
 算の認定について

北秋田市民病院の負担金約7億5千万円について、市長は「一部返納されており、赤字補填は一度も行っていない」と答弁しているが、市長が厚生連に譲歩した会計の仕組み、次の3点によるものである。①指定管理料を年度収支計画書の不足額分に変更。②減価償却費相当額と利子の2分の1とした納付金を免除。③年度精算で、剰余金は市に返納。不足分は追加措置することとした。このような制度を改善し、

賛成討論



関口正則 議員

医師確保と大幅な歳出削減を行うべきである。マタギの里観光開発6千万円貸付と約1億7千万円の累積債務について、経営改善計画では解決が示されておらず、当局の責任は重大である。

財政基盤の安定化に向けた財政力の改善努力が求められてはいるものの財政健全化各指標は、基準値以内であり、総合的に健全で良好な状況で推移していることは評価できる。地方債約8億6千万円増加は、市民交流プラザや市営住宅建設など大規模事業が要因で、中心市街地のにぎわいや市

▼認定第22号
 平成27年度北秋田市
 病院事業会計決算の
 認定について

反対討論

福岡由巳議員

民福祉向上のため必要な事業である。また、厳しい財政事業があるなかで財政調整基金約12億1千万円、減価基金約8億2千万円の積み増しは評価できる。

病院事業会計総費用約9億7千万円のうち、指定管理料は31・8%であり、割合の高さは監査委員からも指摘されている。医師確保対策、施設の有効性の確保改善、指定管理者の経営に関する意欲喚起など、効率的な経営へ認識を改めるべきである。

賛成討論



武田浩人 議員

病院事業会計の指定管理料は、他の施設と同様に、収支計画を立てて不足分について、施設の管理運営費用として支払われている。市民病院の経営結果については、年度協定の精算条項により平成27年度を含め、毎年一部が返納されており、赤字補填は一度も行われていない。平成27年度病院事業会計の純損失約3億5千万円については、病院事業会計は、利用料金制度を採用しており、外来収入や医業収益が入ってこない変則的な会計であり、そのなかで会計上減価償却費相当分が損失となっているが、監査委員からは、資金不足は生じていないとの報告であり、大きな問題はないものと考えている。

総務文教

一般会計補正予算可決

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案1件、単行議案1件でした。一般会計補正予算では、委員から「電算費の住民情報システムと内部情報システムとの移行について一般競争入札ではなく随意契約ということだが、何とか競争原理を用いることができないか」との質疑がありました。当局からは「住民情報系については、利用しているすべての課に71項目のアンケートを実施し、概ね支障がないと回答をいただいている。今年度に入り、検討委員会を設置し更新にあたり不具合等があるかを原課全てで確認しており検討委員会でも特に支障もなく順調に稼働していることから、次年度以降も同じシステムにより継続との結論を出していただいた。競争原理については、現在の業者が開発したシステムを他の業者が高い、安いと比較することは困難であることから、競争原理、入札には馴染まないものと考えている」との答弁がありました。

た。審査の結果、全会一致で可決すべきと決しました。

鎌沢教員住宅の用途を変更

北秋田市立合川学童研修センター条例及び北秋田市教員住宅条例の一部を改正する条例の制定について、委員から「教員住宅には、何人の入居が可能であるのか。もし、その人数を超えた場合の受け入れについてどう考えているか。また、留学生の教員住宅利用と一般家庭における民泊について、どのように計画されているか」との質疑がありました。当局からは「教員住宅

宅の入居は6人まで可能であり、人数が多くなった場合、以前、宿泊を行っていた学童研修センターの空き部屋を利用する。今、留学生として来ている児童は、先週から民泊しているが、旧合川町で行っていた山村留学のように、一カ月の半分は山村留学センター、残り半分を民泊という明確なすみ分けは行わず、状況に応じ民泊をお願いしたり教員住宅に宿泊させる計画としている」との答弁がありました。

審査の結果、全会一致で可決すべきと決しました。

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更にについては、全会一致で可決すべ

きと決しました。

(委員長 佐藤 重光)



鎌沢教員住宅の用途を変更

市民福祉

クリーンリサイクルセンター補正

当委員会に付託された案件は、予算案4件、継審陳情1件の計5件でした。平成28年度一般会計補正予算所管分については、健康福祉部関係では、児童扶

養手当システム改修委託の予算について委員から「国の制度改正に伴うもので、国が事務費を負担することが筋であり、今後、交付税算入されることもないの

か」との質疑がありました。当局からは「今回の件に限らず、国の予算状況により対応が異なることから、今回のケースは残念ながら一般財源での措置になった」との答弁がありました。市民生活部関係では、委員から「クリーンリサイクルセンター費の減額補正に係る当初予算見積額や、債

務負担行為補正に及ぶまでの経緯について」の質疑があり、当局からは「減額補正については、あくまでも単年度分として予算措置をしたものであるが、公募型プロポーザルの応募がなく、スケジュール等を考慮した場合、債務負担行為となった。補正減額と債務負担行為補正限度額との金額の相

違については、応募が無かった原因を数事業者に探ったところ、長期包括に渡る契約になるが故に、法的な確認事項も随時生じることなどの内容を受け、弁護士費用を新たに上乗せした形で設定したものになる」との答弁がありました。

山岳救助用 器材購入へ

消防本部関係では、委員から「消防車両の更新基準や、防火指導車購入に係る助成はないものか」との質疑があり、当局からは「概ねの耐用年数はあるものの、特に基準は設けておらず、

部品の調達、車両の損傷や腐食具合、整備工場の意見も取り入れながら、総合的な判断と計画を持って決めている。また、助成について、車両寄贈の応募も行っているが、単独での車両購入に関係する補助事業はなかなかない状況となっている」との答弁がありました。

また、委員から「山岳救助用器材の仕様と今後の運用については」との質疑があり、当局からは「救助用器材のビーコン（位置情報小型発信器）を持参している場合、電波の発信源が約50mから100mとなっており、視界不良においても、捜査隊が発信音で即座に位

置が特定できるほか、捜索隊も装置するため二次災害にも対応可能となる」との答弁がありました。以上のような審査を踏まえ、全会一致で可決すべきものとし、また、その他の補正予算案、継審陳情も全会一致で可決すべきものと決しました。

（委員長 小笠原 寿）



山岳救助用器材（イメージ）
「ビーコン」

産業建設

深閑の慶祝森林自然公園整備

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案2件、単行議案1件、請願1件の計5件でした。

平成28年度北秋田市一般会計補正予算（所管分）については、農林課関係で、委員から「松くいによる松枯れの伐倒処理委託について、その地区と今後増えていく可能性、またその対応について」との質疑があり、当局からは「鷹巣墓地公園、中央公園、大野岱、ハイランドハウス、米内沢地区等で、今後も継続し、調査を

行っていくきたい」との答弁がありました。

また「慶祝森林自然公園の整備については、現在放置されているような状態だが整備をし公園としてどう生かすのか」との質疑があり、当局からは「慶祝森林自然公園ふれあいの森整備計画ということで、新たに整備をし、水飲み場や松林等の再整備を行い体験の場として活用したい」との答弁がありました。

商工観光課関係では、委員から「Wi-Fi（ワイ

ファイ）整備設計委託につ

いて、設置条件や、今まで市が設置したところがあるのか」との質疑があり、当局からは「今回東北観光復興対策交付金事業で、大館市分、小坂町分、北秋田市分と割り振りがあり、設置場所については、縄文館や道の駅関係を中心とした観光施設を検討したい」との答弁がありました。また「観光施設費の修繕内容について」質疑があり、当局からは「熊牧場や関連する施設、太平湖の関係等、指定管理以外の施設修理料である」との答弁がありました。

建設費関係では、委員から「道路新設改良費の工事請負費について、土地の取

得はあるのか」との質疑があり、当局からは「私有地なので取得費は発生しない」との答弁がありました。

三木田地区 濁水改良

平成28年度北秋田市簡易水道特別会計補正予算（第2号）について、委員から「三木田地区で濁水が発生しているとのことで改良の設計委託ということだが、地域住民への説明を予定しているのか」との質疑があり、当局からは「濁水は常に発生するわけではなく、自治会長等と打ち合わせをしご理解をいただいてい

る」との答弁がありました。その他、付託された議案については、全て全会一致で可決すべきものと決し、請願については、採択、意見書を提出することとしました。

（委員長 庄司 憲三郎）



慶祝森林自然公園

一般質問

一般質問は、9月13日・14日に行われ、8名の議員が登壇しました。

※掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。



各議員の質問に
答弁する津谷市長

1 学校再編整備計画

[P.6]

- 1 介護保険制度
- 2 国民健康保険制度
- 3 指定管理施設のあり方

[P.7]

- 1 中心市街地のまちづくり
- 2 農業振興
- 3 廃校舎の土地管理

[P.7]

- 1 観光施策
- 2 阿仁診療所
- 3 小中学校適正規模再編
プラン

[P.8]

- 1 小中学校適正規模再編
プラン
- 2 熊の被害防止対策
- 3 市長の政治姿勢

[P.8]

- 1 障害者が安心して暮らし続けるために
- 2 「買物弱者」への具体策

[P.9]

1 被災者支援システム
2 今後の地域公共交通

[P.9]

1 旧合川高校と合川球場 の活用について

[P.10]

議員が市長や教育長など市当局に対し、広く市政についての報告や説明を求めるもので、定例会ごとに行なわれます。

☆☆☆☆☆

答 実施するのは得策でないとは判断している

問 再編プランの学校統廃合は広域となり問題が拡大する。選択肢に複式学級を一項目加えるべきではないか。

答 複式学級解消をめざすのが市教委の計画であり、加えることはない。

問 再編プランでは小中一貫教育は問題があるため実施しないこと
でよろしいか。



福岡 由巳 議員（無会派）
〔一問一答方式〕

丁寧な説明と議論を

議員：住民の声で統合計画を

教育長：複式学級解消が計画

ている。教育長の考えはいいが、か。

答 異論はない。ただ地域のみに目を向けるだけでなく子供の置かれている状況がこのままで良いのかということとを地域の方々に考えていただきたいと思う。

問 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」でも手引きと同じ内容になっていて十分な検討と丁寧な議論を言っている。やはり、地域の思いを尊重することが必要であるということであるが、この点からキーワードはどうなるか。

答 厳しい状況にある学級・学校は正常にしなければならぬと思うがキーワードは大変誤解を招くので改める。

問 また手引きでは、山間部、豪雪地帯など近隣の学校間の距離が

山間地の廃校は影響が心配

長すぎて安全・安心な通学ができないとか地域コミュニティの発展の中核的な施設として小規模校のまま存続させる必要がある地域もあると言っているが北秋田市はあくまでも複式学級解消で進めるのか。

【答】阿仁地区の児童生徒数の激減により問題提起という形でプランを策定した。

介護施設料金に補助を



板垣 淳 議員（共産党議員団）
〔一問一答方式〕

厳しく値上げを検討しているようだが、市民のくらしを守るためにあらゆる手立てを駆使して値上げしないように。

問 国保会計は赤字。よって29年度は値上げせざるを得ないと考えている。

答 一般会計から繰り

入れれば値上げしなくても済む。実際、全国4分の3の自治体で繰り入れしている。当市はやっていない。一般会計基金は67億円もため込んでおり、少し使っただけで値上げが回避できる。

答 慎重に取り組みたい。

議員：四季美館で観光案内を

市長：強く指導する

問 四季美館は条例でも、現在の指定管理者が市に提出した業務計画書でも「観光案内を行う」となっているのに、行われていない。それどころか『観光案内所』の看板も外してしまった。

答 現在の指定管理者を選ぶ際、その団体からは「観光案内のライセンス講習を受けた者1名を配置する」と言われていたのに、議員指摘の通り守られてい

問 国保加入者は低所得者が多いのに国保税はほかの税と比べても突出して高く「払うのが容易でない」という切実な声が上がっている。一方、国保会計も



阿仁前田の四季美館

農業の制度改正への対応



長崎 克彦 議員（清和会）
〔一問一答方式〕

米などの土地利用型作物と園芸作物などの組み合わせによる複合経営を推進するため、市の重点推奨作物や奨励品目への支援を行う。

問 廃校舎のグラウンド花壇跡地・樹木等の維持管理はどうするのか。また、草刈などは予算

議員：「鷹ノ巣」駅待合室の開放を

市長：関係機関へ要望する

問 JRでは営業時間待合室は午前6時35分から午後6時5分まで。電車の運行時間は待合室の開放を多くの高校生や市民が望んでいる。駅は当市の「表玄関」市の顔である。関係機関に要望すべきと考えるが。

答 「鷹ノ巣」駅の無人化で時間外の待合室については、市としても要望活動をしていく。

問 中心市街地の空き店舗解消策について。

答 23年度から27年度までに13件の新規出店



転作大豆畑

旧町から学校を消すな



山田 博康 議員（清和会）
〔一問一答方式〕

今後の具体的計画は。また、整備検討委員会からは現在地での建て替えという報告がされていますが、去年3月

定例議会に阿仁庁舎隣接地への建設を求める陳情があり全議員賛成で採択している。

議員：阿仁診療所の改築

市長：平成30年に着工する

問 森吉山野営場は老朽化と倒木で建物の倒壊等、景観を阻害しているがどうされるか。

答 登山者の安全のため建物を解体する方向で関係機関と協議する。

問 伊勢堂岱遺跡の観光活用に向け、看板の整備と小ヶ田駅の駅名の変更を進めてはどうか。

答 内陸縦貫鉄道や駅利用者等、地域の意見を伺いながら遺跡までの誘導やPRを総合的に検討します。

問 当初の計画では阿仁診療所の改築は平成29年完成の予定であったが、未だ具体的方向が示されていないが、

答 建設場所については、2案について検討しています。利用者へ安全・安心な医療体制の実現を目指し平成30年から着工できるように検討を重ねて参ります。

問 合併時の小中学校の総合計画では、旧阿仁地区においては、低学年生の通学距離を勘案した場合、大阿仁小学校は存続する構想であったはずだが、この度、今後予想される北秋田市の超少子化に対応するため、小中学校の適正規模再編プランによると阿仁地区は小

の中を含め複式学級が避けられない現状にあり、その解消策として前田小への統合案と中学校

の森吉中との統合案が示されているが、複式学級のメリットと地方創生、そして市の重要施策である4町の均衡ある発展を目指すという政策課題とは相容れないこのプランは見直しをするべきと思うが、

答 学校再編整備計画は地域の方々と十分意見交換をして進めます。



阿仁診療所の改築を

学校再編プランについて



松橋 隆 議員（みらい）
〔一問一答方式〕

ワードを検討委員会に提示しているが、これは間違っていないか。

答 誤解を招く表現であるので改める。

問 この統合案に反対の地区住民が多ければどうなるのか。

答 この地区の総意を尊重せざるを得ない。

問 熊の狩猟肉を6次産業の考えはないか。

答 熊の生息数は増加している。ドロインの活用は障害物が多いことから困難と思う。

問 熊の狩猟肉として、食肉流通は非常に難しい。

答 熊の生息数は増加している。ドロインの活用は障害物が多いことから困難と思う。

問 北秋田市における熊の生息数は。

答 熊の生息数は増加している。ドロインの活用は障害物が多いことから困難と思う。

問 熊の生息数は増加している。ドロインの活用は障害物が多いことから困難と思う。

答 熊の生息数は増加している。ドロインの活用は障害物が多いことから困難と思う。

議員：三期目への強い思いは

市長：今少し時間を

問 市長の政治姿勢について残任期6カ月任期中の実績の評価は何かになるのか。残った課題は、三期目への強い思いは。

答 自らの実績を評価点数を付けるのは難しい。市民の皆さんが評価するものと思う。市の創生に積極的に取り組む。私自身の問題で

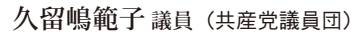
問 複式学級を抱えた小規模校と適正規模の学校の間に学力の差があるのか。

答 学力面では小規模の方が良い傾向にある。地域の思いより子どもの未来というキー



小中学校再編プラン地区説明会の様子

被災者支援の仕組みは



武田 浩人 議員（緑風・公明）

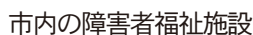
議員：新たな公共交通政策は
市長：システムを再構築する

議員：弱い弱者への支援を
市長：サービスは検討したい

も含め検討したい。交通機関がない地域に対し代替タクシーや乗合いバス、デマンド型タクシーなどを運行している。12月に市街地循環バスの実証運行も予定している。

競争激化に伴う地元小売店の廃業・閉店、定期バス路線等公共交通機関の廃止などが挙げられ、いくつかの要因が重なりあって発生しています。他市でも取り組んでいる移動スー

【答】市民が必要として
いるサービスは事業者
の支援サービスを具体
化できないか。



われているのか。

答 本年3月に個人番号制度への対応に伴い行っております。

問 このシステムは被災者の情報を正確に把握するため複数の部署に跨るので、組織全体で使用するという考え方が重要であるが、プロジェクトチームのような協力体制を構築す

問 大規模災害時の被災者の情報を一元的に管理することができ、被災者支援業務の正確性及び公平性が期待できる被災者支援システムについて伺います。

このシステムが当市に導入されたのは平成25年であるが、バージョンアップは定期的に行

たことです。

問 「北秋田市地域公共交通網形成計画」を策定するうえでの最大のポイントは何か。

答 当市の公共交通は移動手段が混在しており、利用者も分散しているなど現状は多くの課題を抱えています。そこで計画を策定するうえで特に重要なのは

問 今後の地域公共交通について伺います。

本年4月に公共交通を協議する組織が改編されたが、今までと大きく変わった点は何か。

答 公共交通政策のマスタープランとなる「北秋田市地域公共交通網形成計画」の策定や、事業が可能になっ



効率的で持続可能な公共交通システムを再構築することです。

問 12月に実証運行を行う循環バスの事業化に必要なのは何か。

答 わずか一ヶ月ですが、一定の利用があることが大前提です。

合川球場に合宿誘致を



三浦 倫美 議員（共産党議員団）

〔一問一答方式〕

ついでには、現在実施できているが、立正大学剣道部が鷹巣体育館を利用して、4年連続6回目の強化合宿を行っております。今後は、空港、鉄道、高

速交通体系を活かし、宿泊飲食等、合宿受け入れ環境の研究もしながら、観光でもスポーツでも外に売り込めるよう検討して参ります。

議員：旧合川高校に球場駐車場を 市長：テニスコート一帯活用

問 北秋田市で唯一、硬式野球のできる公認合川球場は、多くの野球ファンや地域の方々に愛され利用されてお

問 球場駐車場確保を。旧合川高校テニスコート一帯を整備し、駐車場にする予定です。

答 市民要望を参考に検討したいと思えます。

答 硬式、軟式野球、ソフトボール等、安全に使用できるように、利用者や要望者と協議の上、修繕等順次計画的に取り組んでいます。東北高校遠征試合、東日本選手権軟式野球秋田県大会、県小学生野球新人大会予選大会や県北の中学3年生を集めた硬式野球チームの練習等も行われております。野球合宿誘致に

問 球場を活かすため旧合川高校全体のさらなる有効活用を。サブグラウンドの維持。建物を休憩控室、雨宿りスペース、合宿所等に活用を。体育館の床をはがし土床式室内練習場への改築は、現段階では耐震関係もあり計画していないのとこの点ですが、耐震補強し実現するなど、市民要望を参考に検討できないか。



球場旧合川高校一帯活用を

所管事務 調査報告

北海道 小樽市・岩見沢市を調査

議会運営委員会所管事務調査

議会運営委員会は、7月11日から13日まで北海道小樽市と岩見沢市を訪問し、議会のインターネット中継などについて調査を実施しました。

議会のインターネット 中継配信

昨今、議会中継にインターネットを活用している市議会が多くなっております。

小樽市では、コストを抑えた中継を平成19年より開始。様々な試行をし、現在は動画配信サイトのユーチューブを利用し、本会議と決算特別委員会の生中継・録画配信を行っていました。

岩見沢市では、今年度の6月定例会より中継を開始。生中継を動画配信サイトのユーチューブ、録画配信をユーチューブにて行っていました。

会派の代表質問と 政務活動費

議会での質問には会派代表者が行う代表質問と個々の議員が行う一般質問があり、北秋田市は一般

質問のみ行っているため、代表質問についても調査を実施しました。小樽市では代表質問は各会派40分の質問時間があり、それを超えない範囲で、再質問、再々質問が可能となりました。

岩見沢市では各会派毎に割り当て時間があり、代表質問はその時間内で1人50分以内となっております。質疑内容にも決まりがありました。また、北秋田市では政務活動費の制度がないため、他市の状況について調査を実施しました。

小樽市では議員1人月1万5千円を会派に一括で支給しており、5月末に年度分をまとめて領収書等にて精算していました。

岩見沢市では、議員1人月1万円を会派に一括支給し4月末に収支報告書を提出。政務活動費マニュアルを配布していました。



所管事務調査の様子
(北海道小樽市)

臨時会

クウインス森吉の指定管理者の 指定についてなどを可決

平成28年北秋田市議会第2回臨時会が8月9日に開かれ「平成28年度北秋田市一般会計補正予算（第2号）」「財産の取得について」「北秋田市クウインス森吉の指定管理者の指定について」「北秋田市坊沢財産区管理委員の選任について」4件が上程されました。

災害対策特殊 救急自動車を取得

このうち、財産の取得については、1台304万8千400円の災害対応特殊救急自動車1台を購入するものです。災害対応特殊救急車には、車両本体のほか人工呼



一般会計補正予算や指定管理者の指定についてなど審議が行われた第2回臨時会

吸器やビデオ喉頭鏡、血圧計、自動式心臓マッサージ、酸素吸入器、心電図モニター、吸引器などが整備されており、北秋田市消防署合川分署に納入されます。

ぶなの郷あきた 株式会社を指定

クウインス森吉の指定管理者の指定について議員から「これまでの赤字の原因を指定管理者に示したか。改革改善の断行の内容は」などの質疑があり、これに対し、当局からは「赤字の原因は、温泉送湯管の湯量が減少し、電気料や燃料費がかなり増しになっていたことによる。修繕したこと、その経費はかからなくなる。改革改善の断行については、無料送迎バスの運行やデイサービス移行前準備、レストランメニューの改善、内陸線の切符販売業務のフロント対応などの内容で利用者の取り組みを図りたい」などと答弁がありました。

上程された議案は、すべて原案のとおり可決されました。

全員協議会 協議

北秋田市生活排水処理施設 整備構想について説明

第2回議会全員協議会が8月9日に、本庁舎大会議室で開かれ、北秋田市生活排水処理施設整備構想について説明がありました。

汚水処理施設 整備の現状

市では、平成17年3月の市町村合併後、平成20年度に秋田県生活排水処理整備構想策定に合わせ、「北秋田市生活排水処理施設整備構想」を策定し、汚水処理施設の整備を進めてきました。平成26年度末現在の汚水処理普及率は79・7%となっています。

本市における課題

本市の汚水処理整備における課題としては、集合処理として位置付けられている鷹巣処理区における未整備地域への下水道整備（未普及解消）と接続率の向上、概成済みである農業集落排水16地区における経営及び維持管理面による統合、下水道への接続が挙げられています。集合処理区域の接続率

向上は、整備済み施設の能力を十分に活用することや、設備投資に対する回収面からも、イベントや広報誌配布などの広報活動により下水道の重要性、必要性などをPRすることや、職員による戸別訪問による啓蒙活動の強化により、水洗化の促進に取り組むことが必要と考えており、未普及地域への個別処理についても、同様な啓蒙活動強化の取り組みが必要と説明がありました。



第2回全員協議会

決算特別委員会設置

今定例会には、平成27年度各会計決算の認定23件が提案されました。
各常任委員会から選出された委員は次のとおりです。

一般会計決算特別委員会

▽委員長 佐藤 光子
▽副委員長 小笠原 寿
▽委員 三浦 倫美
福岡 由巳
佐藤 重光
長崎 克彦
松橋 隆
庄司 憲三郎
関口 正則

特別・企業会計決算特別委員会

▽委員長 堀部 壽
▽副委員長 山田 博康
▽委員 大森 光信
佐藤 文信
吉田 仁吉郎
板垣 淳
中嶋 洋子
武田 浩人
久留嶋 範子

決算特別委員会審査報告

平成27年度各会計決算認定案23件が各委員会に付託され、去る9月9日の委員会構成から、10月4日までの期間において、特別委員会を開催しました。

一般会計決算特別委員会

本委員会に認定議案として付託された事件は、1件でありました。審査の最終日には市長、副市長、教育長に対して総括質疑を行い、認定・不認定の判断に資しました。

一般会計歳入歳出決算の認定について、各委員会から様々質疑があり、その中で人口減少対策に関連した質疑に対し、当局から「北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標には、産業振興による仕事づくり・移住定住対策・少子化対策・新たな地域社会の形成の4つを掲げ、それぞれに対して成果目標を設定して具体的な事業に取り組むこととしており、今後とも検証しながら目標達成に向けて取り組んでいく」との答弁がありました。

討論では「常勤医15人というのは病院の形態をなしていない。早急に医師確保を改善し赤字補

てんの方針を変えていくべき。またマタギの里観光開発株式会社について、きちんと改善するよう求める」「起債残高が毎年増え続けており、改善しているとは言えない。返済額を超えないよう借り入れを制限する」という市長の公約に反している」との反対討論があり、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

特別・企業会計決算特別委員会

本委員会に認定議案として付託された事件は、22件でありました。

審査の最終日には市長、副市長に対して総括質疑を行い、認定・不認定の判断に資しました。付託事件は全て認定としたものの、病院会計決算では一部の意見が一致せず「指定管理者制度の利用料金制で運営され、医療収益が発生しておらず、指定管理料や建設時の借入償還利子等、一般会計からの負担金や補助金で賄われているのが実態で、市の財政を悪化させている。打開策は医師確保で収益増を図るべきだが、その予算はゼロ。医師確保をはじめとする様々な課題改善を切に求める」との反対

討論がありました。また「委員会審査や総括質疑での市長答弁

口頭での付帯意見

でも、純損失が約3億5000万円となるが、資金不足は生じていないため大きな問題は無い」との賛成討論がありました。

慎重に審査した結果、口頭での付帯意見として、阿仁合財産区特別会計について「財産区の財産及び運営経費は、財産区の収入である自主財源をもって賄うという独立採算の原則により経営されるべきである。一部の財産区に一般会計から繰入を継続していることは、決して好ましい状況とは言えないことから、当該財産区に対して行政として可能な限り収入を得るための方策を講じるとともに、改善に向けた指導を求める」と付して認定すべきものと決しました。



慎重な審査が行われた決算特別委員会



議会報告会(阿仁地区)

議会報告会

北秋田市議会基本条例が施行となり、3回目となる議会報告会を平成28年7月31日(日)に市内4個所で同時に開催し、昨年より多い合計93人の参加をいただきました。当日のご意見・ご要望については、議会運営などへの貴重なご意見とし、議会運営委員会で議会としての対応を協議したうえで、市長に文書で報告する予定です。

お忙しい中ご参加していただきました市民の皆様ありがとうございます。今後とも多数の方のご参加をお願いします。

【1班】 森吉地区

20人が参加。議会報告後の質疑では、活発な発言となりました。主な内容は、防災関係、少子高齢化、クリーンリサイクルセンター、市営住宅、議員活動等でした。その中で、防災については防災訓練がなされない、防災ラジオはどうなっているのか、連絡体制、ハザードマップの活用など具体的な質疑がなされました。また、議員に対する要望では、この報告会のあり方の改善や市民の意見を聴いてもっと一般質問をおこなうべきなどがありました。

福岡由巳、松尾秀一、山田博康、佐藤文信
庄司憲三郎(欠)

【3班】 鷹巣地区

33人が参加。市民からは「市民病院の赤字はいつ解消するのか」「議員の仕事は一般質問。最低でも年1回は登壇してほしい」などの要望、意見が相次いで出されました。市民病院の経営についても「開院して何年にもなるのに、赤字が続いており、市の怠慢ではないか。特別委員会を作って対応してはどうか」など厳しい指摘もありました。人口減少対策として「企業誘致に力を入れるべき。使用していない公共施設を有効活用しては」の意見も出されました。

佐藤重光、中嶋洋子、久留嶋範子、
松橋 隆、関口正則

【2班】 阿仁地区

21人が参加。議案・陳情の審査結果について報告したあと、参加者からは「介護労金はとても助かっていた。それを引き下げたことは納得できない」「年金引き下げ反対の陳情が不採択。下げないように頑張ってもらいたかった」など、さまざまな意見が次から次へと出されました。また、「診療所を早く建ててほしい」「マタギの里観光開発株の経営を心配している」との阿仁地域の問題も出され、議会として努力することを答弁しました。

板垣 淳、佐藤光子、吉田仁吉郎、
武田浩人、長崎克彦

【4班】 合川地区

議会報告会も3回目を迎え、次回をもって旧4町を一巡することになります。参加人数は19人で、開会前30分には数人来ており、陳情の書面も用意してあることから熱心な討議になることが予想されました。案の定、旧各小学校の管理状況の質問や各地区の抱えている問題や市の対応に関する質疑が多数あり、2時間があったという間に過ぎました。「市民の目線で」との言葉が強く感じられました。

黒澤芳彦、三浦倫美、大森光信、
小笠原 寿、堀部 壽

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件 名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
森吉山秋田県立自然公園内「小又峡」遊歩道整備を求める意見書提出の請願について	前田地区活性化推進協議会 会長 三 浦 清 成 前田商業会 会長 柴 田 裕 前田駅前商店会 会長 加 賀 隆 之	採 択	提 出
「子どもの医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を国に求める」意見書提出の陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡 辺 淳	採 択	提 出

「市民の声」

北秋田市老人クラブ連合会
阿仁支部 支部長

安保 正義 さん（阿仁銀山）

皆様の「声」を

募集します！

※市議会では、市民の皆様は議会への関心と、より身近で親しみをもっていた、そのような議会報の取り組みとして、「市民の声」を掲載しております。

また、開かれた議会を目指しておりますことから、皆様には議会の傍聴を議員一同、心よりお待ち申し上げます。

過疎を憂う

私のところのクラブ（地域老人クラブ）の会員数は10年前と比べると、約半分に減っています。亡くなった方や動けなくなった方、子供のところに行った方など、高齢が理由の退会者です。

身の回り、地域をみても高齢者が3分の2以上です。そして、その半分以上が75歳以上です。

小学生が1人、中学生が3人、また三世代同居世帯は3軒のみです。このように少子高齢化がこのまま進んだ10年先、15年先はと考

え込んでしまっています。

まずは人がいなくなり、社会基盤が崩壊、消滅し、連綿と続いてきた偉大なる阿仁の歴史、文化が途切れるのかと暗澹となります。

老人クラブ活動、または社会福祉の充実などとは別の次元で考えなければならぬことだと感じます。このまま時に流され、この地域が先細り、縮んでいくのを見るに忍びません。賢明なる皆さま、善き方策はないものでしょうか。



人事案件

坊沢財産区
管理委員の選任

◎坊沢財産区管理委員

津谷 静正（新任）
津谷 繁美（再任）
寺田 良美（再任）
戸嶋 廣實（新任）
佐藤 吉美（新任）
長崎 正史（再任）
櫻庭 正夫（再任）

人権擁護委員候補者の推薦についての推薦について

◎人権擁護候補者の推薦

三浦 欽一（再任）
三木田 三木田

あとがき

今年は梅雨明け後に30度を超す真夏日が続いた一年でした。

台風も本土では人命にかかわる大きな被害にあわれた地域もありました。当市では、被害もなく災害のない年でした。

収穫の秋作業もそろそろ終わりに、これからはいつもの事ながら、寒さが身に染みる冬を迎えるための準備作業の時期になります。そして2カ月程で新しい年、平成29年を迎えます。

9月定例議会では、27年度決算について「一般会計・特別会計」の決算特別委員会を設立、審査、結審することとし、いつもより長い定例議会となりました。（昨年までは12月定例議会で決算の結審を実施）。このことは、29年度予算に決算の議決の結果を反映させるための実施です。

広報を多くの市民に読んでいただくため、限られたスペースではありますが、常に改善、改革をしています。市民の皆様にとつては、まだまだ十分ではないと思いつつも「愛される」広報編集に取り組んでまいります。

お気づきのことは一報ください。

（長崎 克彦）

次の定例会と各常任委員会は「12月」です市民の皆さまの傍聴をお待ちしています

各常任委員会の会場
総務文教（阿仁庁舎）
市民福祉（森吉庁舎）
産業建設（合川庁舎）

た報公聴特別委員会

委員長 福岡 由巳
副委員長 久留嶋 範子
委員 長崎 克彦
吉田 仁吉郎
武田 浩人
三浦 倫美